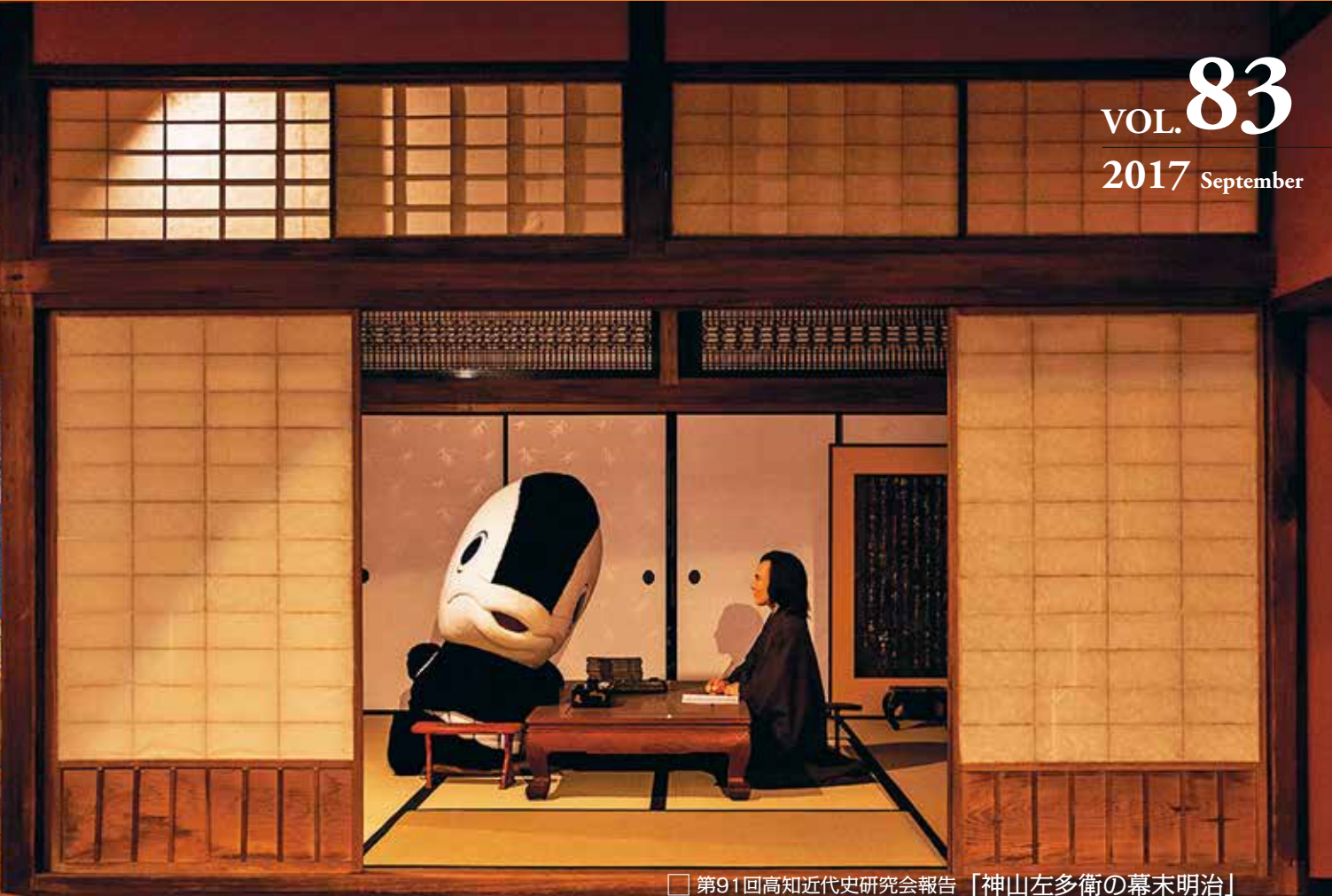


# 自由のともしび

JIYU NO TOMOSHIBI

VOL. **83**  
2017 September



植木枝盛と憲法構想を語る  
カツオ人間

- 第91回高知近代史研究会報告「神山左多衛の幕末明治」
- 「志国高知 幕末維新博」関連企画展  
第3弾「高知城下町の歩み—絵図地図でタイムトラベル—」展  
第4弾 板垣退助生誕180年「子どもたちに伝えたい 板垣退助」展
- 平成29年度 夏休み子ども歴史教室の報告

## ■リレーエッセイ「自由の旗」

自由民権記念館の常設展示室2、自由大懇親会へ向かう群像の展示は圧巻だが、この中に登場する「自由の旗」は現在、宿毛歴史館でも展示している。平成29年3月の「志国高知・幕末維新博」オープンに合わせて増設した展示ケースに収まっていて、こちらもレプリカ。

3畳ほどの旗の中央、「自由」の堂々とした横書き文字は、運動を存分に鼓舞したのであるう嬉しい迫力に満ちている。左脇「中筋九樹」の記載が示す地名は、今も四万十市の中筋川沿いに確認できる。

宿毛出身の政治家、林有造の揮毫といわれるが、同郷の竹内綱、小野梓、林包明なども民権館で紹介されていて、改めて両館のかかわりの深さを痛感する。最近では織田信福が「イケメン」で評判と聞き、なんだか嬉しい気分。

学生時代、高知県立歴史民俗資料館におられた下村公彦先生のご指導で、国会期成同盟の学習のため自由民権記念館にもお邪魔していた。図々しい性格は今と変わらずで、職員の方とワイワイガヤガヤ、ふと気付けばそれ以来のお付き合いになっている。筒井氏とはあれこれいう間にお互い館長という立場になったものの、やっぱり頭が上がりず、この奇稿も二つ返事で引き受けた次第。

当時の論考は望外にも歴史民俗資料館の研究紀要に掲載され、その上ご覧になった外崎光広先生が「これ誰?」と興味を持たれたと伝え聞き、有頂天になったのを思い出す。この仕事も長くなってきたが、きっかけになったあの日々を忘れることはない。

そして、今年度は来年度の維新博第二幕に向け、気掛かりだった「自由の旗」実物資料の調査に出かけようと計画中。またワイワイガヤガヤ、賑やかに成果があがればと大いに期待しているところ。

宿毛市立宿毛歴史館 館長兼学芸係長

矢木 伸欣(やぎのぶよし)

# 神山左多衛の幕末明治

渋谷 雅之（徳島大学名誉教授）

二〇一七（平成二九）年八月二六日に開催した研究会の講演要旨を掲載します。幕末明治を生きた一人の土佐人に新たな光をあてるものとなりました。

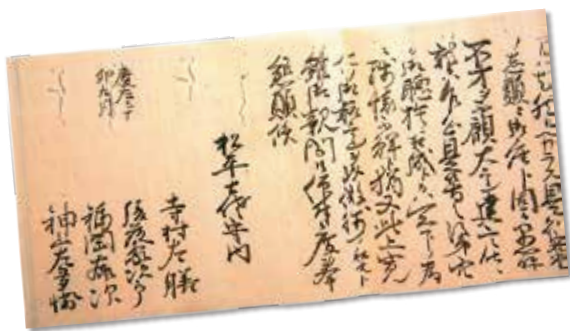
神山左多衛は「こやまさだえ」と読む。晩年は郡廉（くにきよ）と読んだと思われるが、記録がない」と称することが多かった。慶応三年四月、山内容堂の側用役を命ぜられ、四侯会議のために上京する容堂に従った。四侯会議の不首尾により神山は容堂と共にいったん土佐に帰るが、イカルス号水兵殺害事件の対応のため長崎に移動した佐々木三四郎の代役として、急遽大監察に任じられ再び上洛することになる。以後の記録が「神山郡廉日記」として、東京大学史料編纂所、高知市立市民図書館、佐川町立青山文庫に現存する。

神山が寺村左膳、後藤象二郎、福岡藤次と合流した時期、京都では土佐藩の主導する公議政体派と西郷、大久保らの武力討幕派の間で激しい政治的バトルが展開されていた。公議政体論は薩摩を含む諸藩から広い支持を集め、慶応三年十月十四日大政奉還が実現する。一方西郷、大久保らの武力討幕派は中山忠能らの急進派公卿を

説得し十二月九日、軍事クーデターを執行した。同日の小御所会議により総裁・議定・参与の三職が置かれ、神山は後藤、福岡とともに参与に任じられる。鳥羽伏見の戦い後の慶応四年二月、三職八局の太政官制により神山は弁事となり、岩倉具視の右腕として国政に参画することになる。弁事は行政執行の中軸をなした職務であり、政局に関わらない現代官僚の原形として、その貴重な活動の実態が日記に記録された。公議政体論の土佐派が廉前盟約に続く諸侯会議の実現を画策する中で、同年三月、五箇条御誓文と宸翰告諭が行われ、その理念を実現するために政体書が公布され、三権分立と官吏公選が志向された。官吏公選は後の職員令（しきいんりょう）による国家体制の構築に寄与したが、三権分立は外国の模倣に過ぎず、時期尚早であった。それでも議事所が最初の施薬院から九条邸、続いて二条城に移転しながら制度確立の模索が続く。こうした中で国の経済政策は新政府にとって緊急の課題であった。「御用金穀取扱之儀取締」を命ぜられた徴士・三岡八郎は御用金穀・三百万両の調達に取り組み近畿の豪商から金銀の供出を求めた。一

方で戊辰戦争の完遂のため太政官札の発行に活路を見出そうとする。この政策は、三岡が福井で横井小楠の指導の下に成功した方策をそのまま国策に当てはめようとしたもので、その場凌ぎの軽挙であった。太政官札は不兌換紙幣のほずだった。民間で打歩（うちぶ）額面以上の差額をつけて金銀と交換される事態が発生し、金融政策に大きな混乱を招いた。さらに三岡が進めたもう一つの金融政策、すなわち旧幕府の貨幣制度を一時的に踏襲した金銀貨の铸造計画は江戸の大総督府の政策との連携を欠き、京都、江戸双方の目論見が一挙に破綻する。以後、岩倉具視の三岡八郎に対する不信感が生まれ、東西両局の対立を招く。神山ら弁事たちは三岡の処罰を要求したが、さらに三岡の部下による横領事件も重なり、三岡は全ての職を解職され、三月一日には参与をも辞して失意の内に帰郷する。以後三岡八郎が政府の財政に関わることはなかった。

こうした混乱の中で、旧来の慣行にし



土佐藩重臣の家に残された「大政奉還建白書(写)」神山の名が見える。(高知市民図書館 蔵)

がみつく朝廷の公家勢力から天皇を引き離し、近代的な新政府の機能を確立するため遷都が画策されるようになる。大久保利通が主導する遷都計画は守旧的な公家や京都市民らの激しい抵抗に遭いながらも模索が続く、大坂親征→京都遷幸→東京親征→京都遷幸→東京行幸という複雑な経緯を経て太政官が徐々に東京に移った。こうして、遷都宣言もなく京都が廃都とならないまま、首都機能が東京に移り現代に至るのである。

事実上の東京遷都に伴い、神山は従四位に叙任され東京に赴任することになる。任じられた刑法官副知事は事実上刑法官のトップで、現代の法務大臣と警察庁長官を兼ねたような役職だが、神山はこのポストを就任後わずか一ヶ月で辞任してしまふのである。辞任の理由は、官僚から政治家に転ずることに對する戸惑いなどが考えられるが、直接的な辞任理由は、中島直人という人物にあった。中島は有名な足利三代木像梟首事件の首謀者の一人で、維新後刑法官となった。中島はその権力を行使して、鳥取藩主・池田慶徳、徳川慶喜の兄（の些細な落ち度をとらえ、処罰しようとしていた。中島の独走に怒った神山が中島と刺し違えの形で辞任を申し出たものである。これらの経緯は、不法に（あるいは報復的に）権力を行使しようとする、かつての過激尊攘派浪人に対する官僚・神山の抵抗という見方ができる。封建制を打破して法治国家を建設しようとする意気込みは当時の官吏の多くが持っていたものだった。刑法官副知事を免ぜられた神山はその後高知県大参事、和歌山県令、貴族院議員などを歴任し明治四十二年八十歳で没した。

事業報告 9月1日は「防災の日」

# みんなで学ぶ 震災と防災イベント in 自由民権記念館

9月1日は防災の日です。高知はこれまでに地震、津波、台風などの自然災害による甚大な被害を受けてきました。四国近辺においても地震や豪雨による被害が相次ぐ一方、近い将来、南海トラフ巨大地震が起こりうると言われています。そこで、今後起こりうる自然災害への備えや防災意識向上へのきっかけになることを願い、当館では、指定管理者 伊予鉄総合企画株式会社との共催で「みんなで学ぶ震災と防災イベント in 自由民権記念館」を8月26日から9月3日にかけて開催しました。



3 熱心にスリッパを作成中。



4 子供をしっかりと抱いて震度を体験。



5 本は情報のかたまり、役に立ちます。



6 お父さんたちも実験に参加しました。



1 震災報道写真を展示しました。



2 講師は高知新聞社報道部長の西村博文さん。

## ① 震災写真展 いつまでも忘れない

—新聞記者が見た被災地の記憶—

- 日時:8/26(土)~9/3(日) 9時30分~18時
- 会場:自由ギャラリー

高知新聞記者が撮影した東日本大震災、昭和南海地震などの写真と高知市防災対策部のパネルで、震災と防災の理解を深めました。

## ② 「合言葉は『いのく』」高知新聞記者が語る防災

- 講師 西村博文氏(高知新聞社報道部長)
- 日時:8/27(日) 14時~16時 ●会場:民権ホール

新聞記者の視点から、震災の実態、日頃の防災意識の大切さが語られました。

## ③ 日用品で防災グッズを作ろう

- 日時:8/27(日) 13時~16時 ●会場:研修室

新聞紙でスリッパ、ゴミ袋で雨カッパを作りました。日用品を防災に活用できることを学びました。

## ④ リアルな揺れにびっくり!! 地震体験車登場!

- 日時:8/27(日)・9/2(土) 9時30分~16時 ●会場:北側 駐車場
- 南海トラフ巨大地震の震度7を体験し「この揺れでは何ちゃあでさん、身を守る準備をしちよかないかん」という声が上がっていました。

## ⑤ 高知市民図書館・高知県立図書館 出前図書館 こんなにある! 防災の本

- 日時:8/27(日)・9/2(土) 13時~17時 ●会場:民権ホール前
- 震災関係の本がたくさん並び、多くの人が興味深く手にとっていました。

## ⑥ 高知みらい科学館(平成30年夏頃開館予定) 地震や防災について楽しく学ぶ科学実験ショー

- 日時:9/2(土) ①14時~14時40分 ②15時20分~16時
- 会場:民権ホール

親子連れで地震の原因や地震波の伝わり方について、実験をしながら楽しく学びました。「すでくわかりやすかった」と好評でした。



展示風景。  
左に「夕顔艦絵馬」が見える。

力しました。

「脇差 福岡孝弟所用」「後藤象二郎書状写 乾(板垣)退助宛」「島村馬之丞日記」を出品し、企画展の充実を協力しました。

これまで後藤象二郎を本格的に取り上げた展示会は開催されなかったことがありません。本年は後藤象二郎の没後一二〇年にあたることから、大政奉還の実現に奔走した象二郎の人となりや功績、時代背景への理解を深めるために「幕末維新博覧会企画展」として開催されました。

高知県立歴史民俗資料館主催の企画展  
「大政奉還を『象』つた男 後藤象二郎」  
に収蔵資料を出品しました

# 「志国高知幕末維新博」

関連企画展

大政奉還150年・明治維新150年を迎え、平成29年3月4日から平成31年3月31日まで、高知県全域で開催される「志国高知幕末維新博」。自由民権記念館はその地域会場の一つとなっています。企画展第1弾・第2弾は、おかげさまで好評でした。今後の企画展にもどうぞご期待下さい。

第3弾

## 「高知城下町の歩み — 絵図地図でタイムトラベル —」展

期間 2017(平成29)年9月16日(土)～11月26日(日)  
会場 1階自由ギャラリー

記念講演会

申込不要

「絵図地図でたどる高知市の歩み」

大脇保彦氏(高知大学名誉教授)

10月28日(土)午後2時～4時  
1階民権ホール

### 絵図地図はタイムカプセル

江戸時代の絵図や、近代の測量に基づく地図、さらに様々なテーマにフォーカスした主題図は、過去の時間と空間を封じ込めたタイムカプセルです。

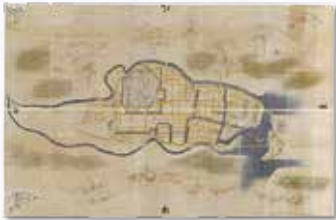
展示では、幕末維新の志士が活躍した舞台ともなった高知城下町の変遷を、絵図地図を使って地理的、視覚的に示します。この展示で、多くの人材を輩出した高知市の歴史に触れていただきたいと思います。

### ◆ 絵図の楽しみ

江戸時代の高知の様子を考えたことがありますか。自分の家や学校があるところは、昔は何があったのか知っ



「下町浦戸湾風俗絵巻」より、  
かるぼーと付近(高知市民図書館蔵)



「慶安五年高知廓中絵図」(高知市民図書館蔵)

第4弾

## 板垣退助生誕180年 「子どもたちに伝えたい 板垣退助」展

期間 2017(平成29)年10月7日(土)～  
2018(平成30)年4月8日(日)  
会場 2階特別展示室

「板垣死すとも自由は死せず！」

一八三七(天保八)年高知市内に生まれ、幕末・維新时期に活躍した板垣退助。今年が生誕一八〇年の節目に当たることから、改めて板垣退助とはどういった人物だったのか、分かりやすくご紹介いたします。

土佐藩、戊辰戦争、明治新政府、自由民権運動、社会改良運動等さまざまな場面で活躍した板垣退助は、同郷の坂本龍馬や後藤象二郎らとともに、幕末・維新时期の土佐を代表する人物の一人と言えます。

大政奉還・明治維新から一五〇年、そして生誕一八〇年という節目の時期に改めて板垣退助をご紹介します。常設展や過去に二回実施した板垣退助テーマ展との差別化を図るため、今回は「子どもたちに伝えたい」をテーマとしました。

私たちが解説します。



「板垣退助」

「じゅっぴー」

本展ではこの二人(?)が一緒になって、板垣退助の生涯とその魅力について解説いたします。



「土佐国絵図」(個人寄託/当館保管)

### ◆地図は語る

明治維新以後、高知市はどんどん変化してきました。その様子を最も知ることが出来るもののひとつに、地図があるのではないのでしょうか。

地図には正確に測量したもののだけでなく、いろいろな種類があります。そして、高知市の発展をたどるもの、都市計画や戦後復興に関するもの、また博覧会や有名な商店を紹介したものや、様々な鳥瞰図、観光案内のように楽しく見ることも出来るものなど、多彩な世界が広がっています。

かつて、伊野方面から棧橋に向かう路面電車が堀詰で右折して鏡川の北岸で左折、そしてさらに右折して潮江橋を渡り南進していたことをご存知ですか。地図で確かめてください。

### ◆タイムトラベルに出発

絵図地図には、いろいろなその時代の情報が盛り込まれ、そこには今ではなくなったものもたくさん登場します。それに、古い順番に見ていくと町の変化がわかります。変化がわかると、変わったのはいつごろか、なぜ変わったのか、など次々と興味が広がってきます。

絵図地図を楽しみながら、高知市の歩みを振り返ってください。懐かしさや新たな発見が必ずあると思います。

ていますか？侍のお屋敷、お寺や神社、ひよっとしてまだ海だった？  
「絵図」は地図の一種です。江戸時代までに作られた地図は、絵のように描かれているので「絵図」といいます。だから地図をみる楽しみと絵をみる楽しみがあります。また、「絵図」には筆の線や手書きの彩色など現代の地図とはまた違った味わいがあり、私たちの祖先の人々の体温が伝わってくるような懐かしさがあります。  
高知にも、江戸時代のお城や城下町を描いた絵図が残っています。様々な絵図の面白さを探し出してみてください。



「鳥瞰式高知市街立体図」より、高知城付近 昭和12年(当館蔵)



「高知市街図」大正10年(高知市民図書館蔵)

板垣退助は、現在小学校社会科の教科書でも「自由民権運動の指導者」として紹介されていますが、その解説文はわずかに数行程度です。そこで、「板垣退助はどんな生い立ちなのか？」「なぜ、自由民権運動をはじめたのか？」「つくった政党はどうなったのか？」など、教科書を読んだら湧いてくる疑問を解消し、子どもも大人も一緒にスッキリできる、そんな展示を準備しています。ご期待ください。



板垣(乾)退助 (1837~1919)

一八三七(天保八)年、土佐国高知城下中島町に生まれる。

一八六八(慶応四・明治元)年の戊辰戦争において、土佐藩軍を率いて参戦中、乾姓から板垣姓に改める。

討幕後、明治政府の参与・参議となるが、一八七三(明治六)年の政変により下野。翌年一月、同志らとともに「民選議院設立の建白書」を政府に提出する。

以後、立志社設立(明治七年)、自由党結成(明治一四年)といった自由民権運動の中心にあり、自由民権運動の指導者・立憲政治の立役者として活躍。

一八九八(明治三二)年我が国最初の政党内閣「隈板内閣」成立時には内務大臣となる。

政治の一線から退いた後は、社会改良運動に尽力した。  
一九一九(大正八)年没。八三歳。

ご期待ください！  
申込不要  
記念講演会  
「自由民権運動とはなにか  
—板垣退助が伝えるもの—」  
真辺美佐氏  
(宮内庁書陵部主任研究員)  
2018(平成30)年  
3月3日(土)  
午後2時~4時  
1階民権ホール



「ルイ・ヴィトン社製  
トランク」  
(個人寄託/当館保管)



「板垣総理被書短刀」  
(当館蔵)

コレに注目!

今回の展示会には、貴重な実物資料も多数展示いたします。中でも、左記の2点は必見です。ぜひ、会場でご覧ください。

# 夏休み子ども歴史教室 報告

7月21日(金)、今年で21回目となる恒例の「夏休み子ども歴史教室」を高知市教育研究会社会科部会との共催により、自由民権記念館で開催しました。

この催しは、自由民権運動や郷土の歴史を常設展示室の観覧やクイズ、歌、劇などで楽しく学び、知識を深めてもらうと始めたものです。当日は、高知市内の小学3年生から中学2年生までの103名が参加し、大いに賑わいました。

運営にご協力いただきました高知市教育研究会社会科部会の先生方、「高知県民謡協会」及び劇団「笛の会」の皆さんありがとうございました。

夏休み最初のこの日。午前9時から受付開始です。参加者の子どもたちは元気いっぱい。「おはようございます。」の挨拶が飛び交い、日頃は静かな記念館も、毎年この日は活気に溢れています。

受付を済ませて民権ホールに入ると、班別の座席に座り開会式を待ちます。

当館長からの挨拶などの開会式のあと、当館製作の映画「自由民権って何？」を鑑賞し、先生からの説明をしっかりと聞いた後、いよいよクイズラリーのスタートです。

10班に分かれて2班ずつ次の5つのチェックポイントをまわ



ります。各チェックポイントでの課題をクリアすると、ラリーマップに中江兆民などの民権家スタンプを押してもらうことができ、5種類の民権家スタンプを集めたらラリー完了です。各チェックポイントの内容は次のとおりです。

## 第1 チェックポイント



常設展示室1をまわりながら答えるクイズ問題です。正面柱に書いてある「自由は土佐の山間より」に関する問題など、全部で5つの問題が出されました。

## 第2 チェックポイント



常設展示室2をまわりながら答えるクイズ問題です。「植木枝盛の書齋」や「群像」に関する問題など、こちらも全部で5つの問題が出されました。

合わせて10問の民権クイズには、簡単なものやちょっと難しいものなど色々ありましたが、職員や学芸員さんの解説(ヒント)に耳を傾け、皆一生懸命に挑戦してくれました。

## 第3 チェックポイント



劇団「笛の会」の皆さんによるお芝居を観てクイズに答えます。明治時代の「自由民権運動大演説会」を再現した当時さながらのお芝居です。女性の弁士さんが女性の投票権について語ったり、劇中劇で板垣退助が襲われた事件の再現シーンがあったりと、最後はおまわりさんが弁士さんを連れ出したりと、子どもたちは終始迫力ある劇に圧倒されています。

## 第4 チェックポイント



明治時代に起こった民権運動に関する事柄や、民権家が経験した様々な場面が描かれている、当時実際に作られた遊ばれていた「民権すごろく」遊びを体験しました。さ

いころを振って出た目の事柄にコマを進めます。「懇親会」「罰金」「演説会」「演説解散」に止まると、「自由万歳」「へいへい百円の罰金さしだします」「ひゃー、ひゃー、ひゃー」はやく出る出ろ」と皆で一斉に言うルールがあります。上がりの「国会」を目指してがんばりました。

## 第5 チェックポイント



「高知県民謡協会」の皆さんの三味線の伴奏に合わせて「よしや節(武士)」を歌います。「よしや節」はよさこい節のメロディと一緒に歌いで、なじみがあり簡単に歌えるかと思いきや、出だしがむずかかったり独特の歌いまわし(こぶし)があったり、最初は戸惑っていた子どもたちですが、民謡協会の皆さんのご指導で、先生方と一緒に元気よく歌いきました。

参加者全員がすべてのチェックポイントを通り過ぎた後、民権ホールに戻って閉会式が行われ、最後に校長先生にご講評をいただき、今年の歴史教室も無事終了しました。子どもたちはとてもまじめに取り組んでくれて、最初から最後までマナーが良く、楽しい歴史教室となりました。皆さん本当にお疲れさまでした。

### 出題されたクイズから

- 問1 当時の流行語だった「自由」という言葉はいろいろな商品の名前に使われました。そこで、「自由水」とはどんな商品だったでしょう?
- ① お酒 ② 化粧水 ③ スポーツドリンク
- 問2 「明治のイケメン民権家」織田信福の職業は次のうちどれでしょう?
- ① 教師 ② 歯医者 ③ 俳優



- ① よしや 南海吉熱の地でも 粋な自由の風が吹く ※よわいこい ※以下くりかえし
- ② よしや 田植のあたしが身でも 後にさがるは好きでない ※
- ③ よしや この身はどうなり果ちよが 国に自由がのこるなら ※
- ④ よしや お前が通さぬ気でも 開けゆく世に聞はない ※
- ⑤ よしや 糸目が切れよとままよ わたしや自由の奴唄 ※

「志国高知・幕末維新博」にあわせ、当館が所蔵する幕末維新史に関する資料を四回シリーズで紹介いたします。(第二回)

## ◆片岡家資料

「片岡家資料」は、当館に寄託されている資料群で、自由民権運動に関する重要な資料が含まれていることで知られています。さらに、幕末維新期のもものも少なからず存在しているの(で)紹介します。

### 【片岡健吉】

片岡家は、遠州掛川以来山内家に仕え、家格は馬廻でした。片岡健吉は一八四三(天保十四)年十二月二六日高知城下中島町に長男として生まれ、戊辰戦争では、土佐藩東征軍の幹部として各地を転戦しています。一八七二(明治四)年から一八七三(明治六)年にかけて官費視察員として欧米を視察、帰国後海軍中佐に任ぜられますが、「明治六年の政変」によって下野した板垣退助らに従って辞職し帰郷、立志社の創立に参加し、翌年社長に選ばれました。

以後、一八七七(明治十)年「立志社建白」一八八〇(明治十三)年「国会ヲ開設スル允可ヲ上願スル書」を政府に提出、一八八一(明治十四)年自由党創立に参加、一八八七(明治二〇)年の三大事件建白運動では総代として上京、保安条例の退去命令を拒否して投獄されるなど、自由民権運動の中心人物の一人として重きを成しました。

一八八〇(明治十三)年には初代の高知県会議長に就任、一八九〇(明治二三)年の第一回衆議院議員総選挙で当選、以後連続八回当選し一八九八(明治三一)年から五年間衆議院議長を務めるなど、議会人としても活躍しました。また、一八八五(明治十八)年キリスト教に入信し、高知教会の創立に尽力するとともに、同志社社長にも就任しています。

一九〇三(明治三六)年十月、六一歳で死去しました。

### 【片岡家資料】

片岡家に伝わった資料は、戦前には一部の貸出等による散逸や、県立図書館に寄託していた図書が戦災による焼失に見舞われたようですが、戦後、高知市民図書館を経て当館に寄託されることとなりました。その全容は『高知市立自由民権記念館紀要 第十三号(二〇〇五年)』に掲載した「片岡家資料目録」および、上田博信「自由民権記念館に寄託の『片岡家資料』解説」、公文豪「片岡家史料について」によって知ることが出来ます。

それらによると、片岡家資料は、「①健吉の祖父範三郎、父俊平、健吉の三代にわたる藩政期史料、②戊辰戦争関係史料、③自由民権運動関係史料、④初期の帝国議会、政党関係史料、⑤片岡健吉日記、書簡類など片岡健吉とその家族にかかわる史料」に大別することが出来ます。

### 【幕末維新関係資料】

片岡健吉の日記類で幕末のものは、文武修行関係のほか、土佐藩における勤務関係を中心とした日記風の記録や、一八六八(慶応四・明治元)年の「在陣中手扣」があります。

書簡類の中には、一八六六(慶応二年)、江戸からの板垣退助より片岡健吉・六戸直馬宛消息の写し(原史料は一九九五年板垣会より当館へ寄託された)が、戊辰戦争中のものでは、迅衝隊右半大隊司令(後に大軍監兼任)として従軍中に、家族にあてた戦況報告があります。

文書類では、戊辰戦争に関係する、上からの軍令・沙汰等と下からの届け・注進の類が、維新後では、健吉が、新政府下で権大参事等として、特に軍事面で藩政に参画したところから、藩が県となったところまでのものがあり、中には一八六九(明治二)年から一八七二(明治五)年にいたる時期の高知藩における、法令・措置・人事等を収録した冊子が含まれています。

書籍では、戊辰戦争に関する『蹇難者履歴書(天地人)』『東征記(壹式参)』『北伐記(完)』が残されています。

これらの中で、幕末維新史に関して注目すべきは、健吉が従軍した戊辰戦争に関する、当事者ならではのものではないでしょうか。まず「在陣中手控」は、一八六八(慶応四・明治元)年一月十三日高知を出発し各地を転戦し、会津若松攻略を経て高知に凱旋し御酒を賜る十二月十二日ころまでの記録です。これには「是の日記陣中ノ手扣大略也―家内之他ハ見テ不許大事に控るめをくべし」という付記があり、健吉にとっても重要な記録であったことがうかがえます。

次の戊辰戦争時の書簡には、妻美遊と長男啓太郎にあてた四点と啓太郎にあてた六点が残されています。二月九日付江戸へ向け進発前の近況等を記した京都差出のものから、市ヶ谷、今市、宇都宮、棚倉城、二本松城下、若松城下から差し出したものがあり、今市の激戦、白川の戦闘、棚倉城占拠、三春入場、二本松城攻略の様、二本松進発後会津降伏にいたる戦況などを伝えています。

また、当館は片岡家資料とは別に、七月十一日「健吉」と「権太夫」なる者の連名で「勝兵衛様 守部様」に「従奥州棚倉城呈一翰候」ではじまる書簡を所蔵しています。「健吉」は片岡健吉と考えられ、その中では「若松ヲ灰ニセン事ヲ企望ス当時白川及当城にアル処之軍兵ハ実ニ孰も強兵向ふ所無前之勢ニ御座候」という前線の高揚感に溢れた文面が見られます。

これらの資料は、戊辰戦争の実相をつたえる貴重な資料といえるでしょう。



## カツオ人間、来館。

3月30日、カツオ人間が来館しました。館内を視察し、自由大懇親会に向かう行列に参加したり、植木枝盛の書齋を訪れ懇談しました。

カツオ人間は高知県土佐沖出身。高知県PRのため、各地に出没中。



## 変法派の書簡と『燕山楚水紀遊』

—「山本憲関係資料」の世界—

山本憲関係資料研究会 編 平成29年1月30日発行 540頁

山本憲(1852～1928)は、佐川町出身の自由民権論者で漢学者としても著名な人物です。2006年、ご子孫から6千点以上の資料が寄託され、その全容は『山本憲関係資料目録』(2011・当館発行)にまとめられています。

その中には、「戊戌政変」で日本に亡命する清朝末期の変法派の知識人からの書簡や写真などの貴重な中国関係の資料が含まれています。

本書は吉尾寛高知大学教授を代表とする研究会の科研費共同研究の報告書です。書簡の原文と現代日本語訳、解題および注を収め、清朝末期の日中民間交流の新たな姿を浮上させるものとなっています。



## 行事予定 (秋・冬)

予定は変更になる場合があります。詳しくは自由民権記念館までお問い合わせください。

開催中～9月18日(月・祝)

### ■「志国高知 幕末維新博」関連企画展 第1弾

「汗血千里の駒」が描く坂本龍馬

会場:2階特別展示室  
※常設展観覧券が必要

9月16日(土)～11月26日(日)

### ■「志国高知 幕末維新博」関連企画展 第3弾

「高知城下町の歩み  
—絵図地図でタイムトラベル—」展

会場:自由ギャラリー  
※常設展観覧券が必要

9月30日(土)10:00～

### ◆民権史跡探訪

「旧関川家住宅民家資料館」見学会

案内人:土居利光氏(友の会幹事)  
現地集合 少雨決行

10月7日(土)～4月8日(日)

### ■「志国高知 幕末維新博」関連企画展 第4弾

板垣退助生誕180年  
「子どもたちに伝えたい 板垣退助」展

会場:2階特別展示室  
※常設展観覧券が必要

10月14日(土)14:00～16:00(受付13:30～)

### ◆友の会第17回「県詞の日」記念講演会 「草莽の民権家 弘瀬重正の 読書ノートについて」

講師:松岡億一氏(前 自由民権記念館館長)  
会場:研修室

10月28日(土)14:00～16:00

### ■高知近代史研究会第92回研究会 「高知城下町の歩み—絵図地図で タイムトラベル—」展 記念講演会 「絵図地図でたどる高知市の歩み」

講師:大脇保彦氏(高知大学名誉教授)  
会場:民権ホール

絵図地図には、豊富な情報が盛り込まれており、高知城下の成り立ちや高知市の変化を絵図地図を見ながら紹介します。

12月13日(水)10:00～

### ◆「兆民忌」

集合場所:高知市筆山上り口  
筆山にある中江家の墓参り

12月23日(土・祝)13:30～

### ◆土佐凧を作ろう(第21回民権凧まつり)

会場:自由ギャラリー

1月4日(木)14:00～

### ◆土佐凧を揚げよう(第21回民権凧まつり)

場所:鏡川北岸 トリム公園

1月20日(土)～2月22日(木)

### ■第18回社会科自由研究作品展

会場:自由ギャラリー

市内小中学生の社会科に関する研究作品を展示。



1月23日(火)10:00～

### ◆「無天忌」

集合場所:高知市小高坂市民会館  
植木枝盛の命日に墓所の清掃と墓参り

3月3日(土)14:00～16:00

### ■高知近代史研究会第93回研究会 板垣退助生誕180年「子どもたちに 伝えたい板垣退助」展 記念講演会

「自由民権運動とはなにか  
—板垣退助が伝えるもの—」

講師:真辺美佐氏  
(宮内庁書陵部主任研究官)  
会場:民権ホール



◆は当館内自由民権記念館友の会事務局にお問い合わせください。



自由のともしび  
JIYU NO TOMOSHIBI

自由民権記念館だより vol.83

発行 2017(平成29)年9月1日 発行人 筒井秀一

発行所 〒780-8010 高知市棧橋通4丁目14-3 TEL.088-831-3336 FAX.088-831-3306

自由のともしび (Vol.60から) が当館公式サイトでご覧いただけます。